

山田村の雪

山田村の雪
山田村の雪

山田村の雪

山田村の雪

山田村の雪

山田村の雪

山田村の雪

山田村の雪

山田村の雪

山田村の雪

山田村の雪

山田村の雪

山田村の雪

山田村の雪

山田村の雪



日蓮上人像

「ばあさんや、今年もまた寒い冬が来るなあー、雪がどーんと降る事やろうなあー。」
 「ほんまやなー、おじいちゃん。毎年の事やであきらめてるけど、やっぱ雪は少ない方がええなあー。」
 「はやはや、おじいちゃん、もうそろそろ十一月十二日のえしきやで。みようほっさん（妙法寺）へお参りしよ。あの上人さんのお頭巾の色を拝みに行こうな。青い色のお頭巾をかぶってやあつたらええのになあ。青いお頭巾やつたら、この冬は雪が少なくて楽なこっちゃがなー。」

雪かきばなし

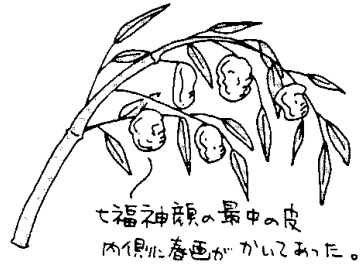
えしき

恩田 致・記

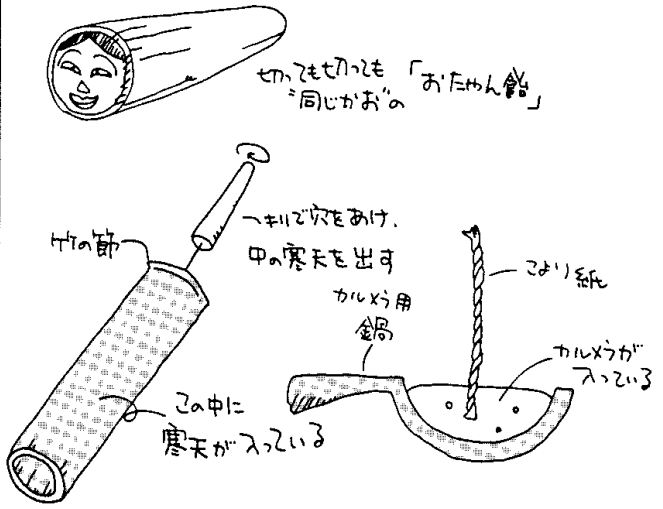


「去年みたいに、白いお頭巾やつたらかなんなあ。思い出してもぞーっとするがな。六尺ぐらい雪が積もったな。庇が折れたな、大屋根の雪止めの丸太も落ちたし、瓦もひどいもんにずれて落ちたなあ。」
 「ほんまやな、ばあさん。大雪は大変な事や。日蓮さんもようあてやはるさかいな。」
 「はやけど、お天気の時やで、しよーうがないがな。ほれよしか、あの面白いオタヤン館な、どこを折っても折ってもおんなし顔のオタヤン顔が出てくる館や。孫の良男に買うたるかいな。ほてから、あのカラメル焼。あそこの夜のカラメルは、ザラメの上等を使うとるでうまいで。」
 「はやけど、おじいさん。夜店のもん買う事はっかりいうてんと、お参りせんと罰があたるで。」
 「良男には、あの藤本屋の竹筒ぱが安うて薬になるで。カラメルや館は甘うて体に毒や。それに、福笹を買うて飾ると縁起がええで。おじいさんの好きなオモロイ絵が、七福神さんのモナカの皮中にかいたるがな。」

昭和五、六年頃の話です。その年の冬の雪を心配して、近在の善男善女がよくお伺いに参拝致しました。私の子供の時の話です。今の御住職はこの話、ご法度されています。昔懐かしい話で、長浜の初冬の語り草として伝わってきました。秀吉公が長浜城下町政策の一環として、徳勝寺、浄琳寺、知善院などと共に小谷城下から移されたお寺が、天正三年に増長院日當上人によって開山された、長浜では珍らしい日蓮宗の長尾山妙法寺です。前は長浜八景の一つとして優美を誇るお寺でしたが、昭和二十七年に子供の火遊びが原因で焼失し、今は山門に古めかしく優美さの面影を残しています。 坂本堂には、第三世日護上人の彫刻で宗祖尊像（慶安二年作）と、秀勝公の絵像の写真が掲げてあります。またお寺の一隅にそのお墓があり、「本光院朝堂居士」と朱金でふち取られた宝篋印塔が現存しています。



七福神の景中の皮
内側に春画がかいてあった。



妙法寺本堂の秀勝の絵像

